

普通職業訓練 短期課程

建築系 コースガイド

木 造 建 築 科

訓練期間:1年間(4月入校)

2級建築士試験 受験資格
実務経験年数短縮 認定科

テクノカレッジ米原

滋賀県立高等技術専門校 (米原校舎)

テクノカレッジを選ぶということ…

スペシャリストへの第一歩

知識と技能を得て、新たなステージへ！

新しく社会へ扉を開こうとする方。
新しく道を見いだすための扉を探している方。
テクノカレッジはあなたの可能性の扉を見出し、
職業生活におけるターニングポイントの機会を
生かせるようお手伝いをいたします。



テクノカレッジ米原 校舎全景

安心して快適な 住まいをつくる 建築系コース!

目次

木造建築科（建築科相当） P 4 ~
チャレンジできる 資格は？ P12 ~
入校するには？ P14 ~
求人事業者様向け情報 P15 ~
問合せ P16

木造建築科

木造住宅建築に関する基本的な知識・技能を習得し、建築業関係に就職をめざす技能者を養成します。

どのような方を、 対象にしているのか？

求職者（離転職者）の方、または中学卒業見込みの方で、建築大工等の職業に就きたい方、木造住宅、木材加工または建築施工に関連する職業に従事したい方を対象としています。



受講期間や 募集定員は？

受講期間(時間)

1年間

(総訓練時間 1,296時間)

受講開始時期

4月上旬

募集定員

20名

受講料

無料



資格は取得できる？

在校中にチャレンジできる資格もあります！

- ・ 3級技能士（建築大工）・・・大工作業の知識と技能（基礎）
- ・ 建築CAD検定・・・CADを使った図面作成能力

その他にもありますので、18,19ページ参照して下さい。

修了後に受験可能になるものもあります！

- ・ 2級技能士（建築大工・3級取得後）・・・大工作業の知識と技能（応用）
- ・ 2級建築士 ※・・・建築に関する知識と設計能力
建築物の設計と監理をするための免許資格

※受験に必要な実務経験年数の短縮：関連学科の卒業でなければ、7年の実務経験が必要のところ、修了により、高卒以上の方は0年、中卒以上の方は2年に短縮されます。ただし、合格後の免許登録には、別途2年間の実務経験が必要です。（ただし、木造建築科を受験上の最終学歴にする場合に限る。）

★ワンポイントアドバイス★

建築系職種は、自動車免許必須の求人が多いです。MT車に乗ることも多いため、AT限定の方は限定解除に行っておきましょう！

就職状況は？

建築業全般または、ホームセンター・木材加工関連事業所などの業種において、木工事（大工作業）・左官・その他の関連職種工事・設計・施工管理・建築営業・建築事務建材販売・製材・測量・営繕などの業務へ就かれる方が多いです。

これまでの就職先は・・・

(株)池本、大与工務店、(株)木澤工務店、(株)巧技工務店、
(株)伊藤組、(株)BESS京神、(株)コメリ、(株)アヤハディオ、
SGSエンジニアリング(株)、(有)大治工務店 など（順不同）

就職率は・・・

令和6年度 100%、令和5年度 80%

何が学べるのか？

設計・図面に関すること

建築図面の読み方・描き方、また、プランの計画から設計法、守るべき法律などを学び木造住宅の設計手法を身につけます。それらに加えて、CAD（jw-cad）の取り扱い方も学びます。



道具・機械に関すること

大工道具・木工機械の取り扱い、材料の性質などについて学びます。また、構造物を構成するのに必要な継手（つぎて）・仕口（しくち）の加工を通して技術と知識を身につけます。



構造・施工に関すること

建築の構造を学び、全員で協力して部材から加工し、模擬家屋を建築します。骨組み完成後は、各自に割り当てられた部屋の内装および外装工事を行います。



1年間の訓練のうち、学科が約1/3、
実技が約2/3の割合です

大工技術に関すること

大工の数学と呼ばれる規矩術（きくじゅつ）について学び、技能検定の課題など、個人で完結する課題に実際に取り組んで、大工技術を身につけます。



関連職種に関すること

住宅設備や測量、基礎工事など木造住宅に関係する幅広い職種やその仕事に関して学び、総合的な知識を身につけます。



安全やデジタルリテラシーに関すること

足場や危険予知など、現場での安全衛生作業に関する知識を学び、けがや事故を起こさない考え方や方法を学びます。また、デジタルリテラシーの必要性の高まりに対応できるよう、訓練にデジタルリテラシー訓練も組み込んでいます。



カリキュラムの内容は？

訓練科目、時間数および教科科目の細目

米原校舎

訓練課程				普通職業訓練 短期課程		対象者		若年者・離転職者・中学校卒業者	
訓練系				建築施工系		区分		A	
訓練科目				木造建築科（建築科相当）		分		就職先の職務	
訓練期間				1年		訓練時間		1296時間	
訓練目標				建築全般に関する基本的な知識の習得 木造住宅の施工および各種部材加工に関する技能および知識の習得					
仕上がり像				指示の下で木造住宅の施工および各種部材加工ができる 補助として木造住宅の設計や現場管理ができる					
訓練の内容	教科の科目			教科の細目					訓練時間
	学科	建築構造	建築物の構成と基礎構造 鉄筋コンクリート造 鉄骨造 鉄骨鉄筋コンクリート造 組積造 建築物の防火と保守					24	
		建築設備	給排水衛生設備 電気設備 空調設備 その他の設備					36	
		規く術	さしがね使いの基本 勾配基本図 棒隅木					24	
		測量	測量一般 測量機器 敷地測量					9	
		材料	木材 セメント、コンクリートおよびその製品 鉄鋼、非鉄金属及びその製品 ガラスと粘土製品 左官材料と吹付け材料 高分子材料 石材 その他の材料					30	
		製図	建築製図と規約 製図用具と使い方 建築図面の概要 建築図面の模写 投影法					36	
		工作法	手工具、電動工具、木工機械の使用法 図板、尺杖等の作成方法 構造材の墨付けと切組 内外部造作材の木ごしらえと取付け					24	
		施工法	施工計画 仮設工事 土工事、地業および基礎工事 木工事 屋根工事 防腐、防ぎ、断熱および防音工事 左官、建具、塗装、壁装工事 その他関連工事					24	
		安全衛生	産業安全と労働衛生 安全衛生管理の実際 具体的労働災害防止対策 5S 応急処置 安全衛生関係法規					15	
		関係法規	概要と用語の定義 建築基準法 建設業法 建築士法 その他の関係法規					36	
		仕様および積算	仕様書 積算の概要 面積計算 明細積算					24	
		構造力学	力のつり合い 荷重・外力 荷重と反力のつりあい 部材の応力 断面の性質 たわみと座屈 構造計画 断面寸法の算定 基礎および地盤 壁量計算					30	
		木質構造	各種木質構法の概要 荷重と構造計画 木質構造の接合部 各部構造					24	
		計画原論	環境と建築 温熱環境計画 住宅性能計画 日本建築史 西洋、近代建築史					21	
		建築計画	住宅各部の計画 住宅計画の進め方 インテリアの計画 福祉住環境					33	
		施工管理	施工計画 工程、品質、原価管理 労務、安全衛生、環境管理					12	
		デジタルリテラシー	デジタルリテラシーについて、ストラテジ分野、マネジメント分野、テクノロジー分野、建築分野でのデジタルツール活用					30	
		学科計							432
	実技	器工具使用法	手工具の手入れおよび使用法 木工機械、電動工具および刃物研削用機械の取り扱い 応用課題					180	
		機械操作実習	パソコン操作 CAD操作 建築機械使用実習					30	
		工作実習	墨付けの基本 継手、仕口の墨付けと切組み 規矩術による墨付けと切組み					150	
		基礎工事実習	仮設工事 鉄筋工事 型枠工事					18	
		施工実習	木造建築物の施工					420	
		安全衛生作業法	服装、装具および保護具の取り扱い 3S 手工具、機械、電気の正しい取り扱い 危険予知 足場と高所での安全作業 建設機械作業の災害防止 応急処置					15	
		測量実習	距離測量 水準測量 トランシット測量					9	
		製図実習	エスキース 現寸図 設備図 透視図					42	
実技計							864		
合計							1296		
備考									

入校にあたっての 注意点は？

受講料は無料です！

入校時に必要な経費があります

- 教科書および作業帽、訓練生総合保険 40,000円程度
- 作業服・安全靴（スニーカータイプ）などは、各自で準備（別途規定あり・詳細は入校前に通知します。）



刻み（木材加工）作業



内部造作作業（天井）



クロス仕上げ作業



左官仕上げ作業

訓練修了者の声



株式会社 池本
畑慈愛さん
(令和4年3月修了)

入校のきっかけは？・見学会への参加

転職にあたり、ハローワークで次の職を決めようと思ったものの不安があり、勉強してからと考え相談したところ、テクノカレッジを紹介されました。見学会に参加して、これが決め手となって入校を決めました。入校を少しでも考えている人には参加をお勧めしたいです。

学んでいなかったら言葉も通じない

専門校生活は全て良かったですが、今になって実感するのは、道具の名前とかを普通に言われて持っていく必要があったりするので、専門校で学んでいなかったら言葉も通じないような状態だろうと思います。

基礎的なことからしっかり学べる

研ぎなど基礎的なことをしっかりと学べるし、今では構造を理解しているのも大きいと思います。遠くから通いましたが、保険給付で交通費が出るのもありがたかったです。

今後は経験値を早めに蓄えたい

今後はまずは全体的にスムーズに仕事をこなせるようになることを目標にしています。パワー不足やスタミナ切れは折々感じるので、力をつけていきたいです。リフォーム工事が多いのですが、既存のままの部分に合わせるのに頭を使うので、そういった面での経験値を早めに蓄えたいです。



畑さんと棟梁

就職先事業所の声



株式会社 池本
代表取締役
池本孝雄様

3年で1人前の大工へと期待

畑さんは非常にまじめに勤務されています。小さいころから大工をしたいとの思いを持たれていたようで、向上心があり、こつこつ丁寧に仕事をされています。会社としては3年ほどで1人前の大工になってくれるのではないかと期待しています。

女性が活躍する会社

当社は水口で創業80年の住宅会社で、最近ではリフォーム工事の割合が増え7割ほどを占めます。顧客には高齢者も多いですが、女性が大工として活躍しているのを気持ちよく応援いただいています。事務・設計部門にも女性が多いこともあり、うまくコミュニケーションが取れているようです。

責任のある仕事をやり抜く

自社大工4人を抱えていますので、責任のある仕事が出来ています。手直しのない良い仕事を時間をかけてでもやり抜くという方針です。ただ60代が3人と、円熟期ではあるものの高齢化も否めないなので、技能の継承を進めていきます。

何事も基本が大切

何事も基本が大切ですが、テクノカレッジ修了生はしっかりとそれを身につけて来てくれると考えています。そのためテクノカレッジから畑さんの後輩の採用も考えており、特に今は現場管理者の採用を検討しています。水回りなど奥様との打ち合わせが多くなるので、できれば女性のほうが活躍いただけるのではないかと思います。

《指導されている棟梁の声》

会社には加工場があり、今では少なくなった手刻みに対応できます。プレカットも使うものの、畑さんへの技能の伝承のためあって、コストがかかっても手刻みを選択する余地を社長から与えてもらっています。板図（左写真）を自分で描いていくことにより、その家の構造が頭に入って間違いなく刻んでいけるようになります。畑さんは自分からよく質問してきますし、着実ですので、早い成長を期待しているところです。

今後チャレンジできる資格の内容は それぞれどのようなものか？



2級建築士

国家資格

一定規模以下の木造や鉄筋コンクリート造などの建築物の設計、工事監理等を行うことのできる国家資格。建築業界では非常に重視され、資格を必須要件とする求人も多い。木造建築科を修了すると、実務経験の短縮が認められる。受験については5ページ参照。

木造建築士

国家資格

上記同様だが、1階または2階建て延べ面積300㎡以下の木造建築物の設計、工事監理等に限られる。

3級技能士（建築大工）

国家資格

木造建築物の大工工事の施工に必要な技能を持つことを証す厚生労働省認定の国家資格。木造建築科の実技訓練では合格以上の実力をつけることを重要な目標として指導します。（合格後2級受検可）

2級建築施工管理技士補

国家資格

建築施工管理技士は一般建設業、特定建設業の許可基準の一つである営業所ごとに置く専任の技術者並びに現場に置く主任技術者および監理技術者の有資格者として認められる国家資格。

17歳以上であればだれでも2級の第1次検定が受検でき、標題はその合格者の称号。合格後、2次検定を受検する時には、学歴により異なる実務経験年数が必要だが、木造建築科を修了すると、実務経験の短縮が認められる。

（6月申込・11月受検）（1-2月申込、6月受検）の年2回

福祉住環境コーディネーター（2級・3級）

医療・福祉・建築について体系的に幅広い知識を身に付け、高齢者や障害者が、できるだけ自立していきいきと生活できる住環境を提案する。東京商工会議所が実施。（6月申込、7-8月受験）、（10月申込、11-12月受験）の年2回。

インテリアコーディネーター

インテリアに関する幅広い知識を持ち、快適な住空間を作るために住まい手に適切な提案・助言が行える。公益社団法人インテリア産業協会が実施。（7-8月申込、10月1次試験、12月2次試験）

建築CAD検定試験（2級・3級）

建築用図面を「CAD」を使って描く技量を測る検定試験。年間8000名程度が受検している。一般社団法人全国建築CAD連盟が実施。（8月申込、10月受験）、（2月申込、4月受験）の年2回。

DIYアドバイザー

快適な生活空間を創造したいと願う生活者に対し、住まいの手入れ・補修・改善などDIYの指導・相談に携わる。一般社団法人日本DIY・ホームセンター協会が実施。（6-7月申込、7-8月学科試験、11月実技試験）

入校するには？

●求職者の方



テクノカレッジ見学会

○短期過程の受講（入校）を希望される求職者の方

ハローワークで職業相談を受けてから、ハローワークで公共職業訓練受講申込書を提出してください。

各テクノカレッジで開催する事前説明会に必ず出席してください。

まずは、テクノカレッジの **訓練見学会** へお越しください！
見学会の日程は、テクノカレッジのWebサイトに掲載しています



見学会ページ

電話・メールでも、お気軽にお問い合わせください

TEL 0749-52-5300

MAIL kogisen@pref.shiga.lg.jp

求人事業者様向け情報

当校では、地域に密着した様々な職業能力開発を実施しており、テクノカレッジ訓練生は各業種に応じた知識や技能を取得しています。ぜひ、求人の際には、当校までご連絡くださるようお願い申し上げます。

テクノカレッジ米原（滋賀県立高等技術専門校 米原校舎）

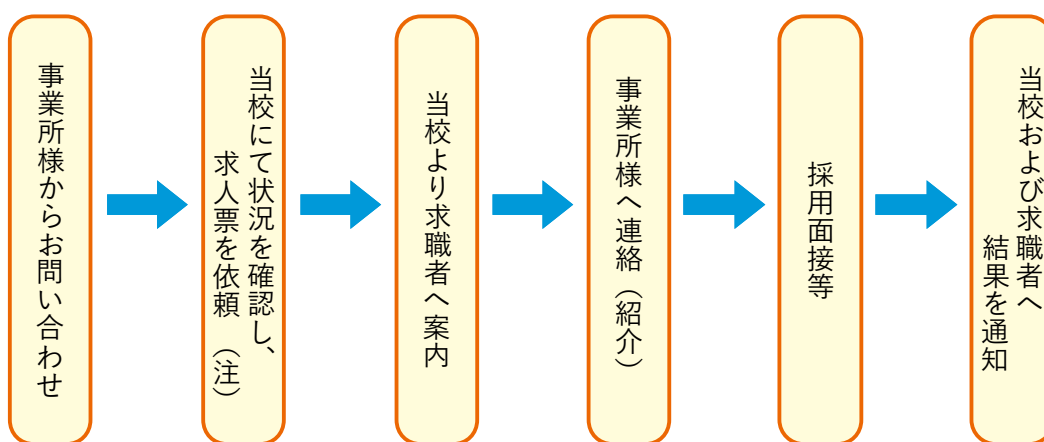
TEL 0749-52-5300 FAX 0749-52-5396

MAIL kogisen@pref.shiga.lg.jp



求人のお願いと訓練生の求職情報

求人から採用までのフロー



（注）当校のWebサイト上の求人票を使い、メール・FAX等にて直接求人を申し込みいただけます。

また、各公共職業安定所（ハローワーク）の窓口で一般向けに求人を申し込みされます際、「テクノカレッジ併用求人で」とお申し出いただくことでも求人いただけます。

事業所様からの当校への見学も随時受け付けております。見学をご希望の場合は、事前にご連絡ください。

問合せ

お問い合わせ先



テクノカレッジ米原

(滋賀県立高等技術専門校 米原校舎)

お気軽に
問合せしてください☆



ヒロトくん

住所 〒521-0091 米原市岩脇411-1

TEL 0749-52-5300 FAX 0749-52-5396

MAIL kogisen@pref.shiga.lg.jp

Webサイト <https://www.pref.shiga.jp/kougi/>



Webサイト



Instagram



建築系訓練科(公式)訓練風景 掲載中！

フォローして最新情報を、チェック♪

『テクノカレッジ米原』で検索 🔍



Instagram QRコード